

忘れがちだけど大切なこと

大黒柱とリビング階段

昔、家の真ん中には、何がありましたか？

そうです！の家の真ん中にはど〜んと「大黒柱！」というのがありましたよね？

昔から一家の主であるお父さんのことを「一家の大黒柱」なんていいますよね。

これは、家庭の中で中心的存在であるお父さんを、家の中心にある大切な柱に例えた言葉です。

最近では、悲しい事にあまり使われなくなって来てますね…

言われるとしたら、「もう、ちょっとしっかりしてよ！あなたはうちの大黒柱でしょ？」と都合の良い時だけ言われてたりして…

その大事な大黒柱が家の真ん中にあるのが当たり前でしたが、最近では柱ではなく階段や吹き抜けの方が多くなっていますね。

それを望まれる方も多いのが現状です。

そうそう。昔こんな事を言われていたのですがご存知ですか？

「家の真ん中に階段を持っていったらダメ！」って…

何故かって？これは木造の家の場合、家の真ん中に階段を持ってきて、今流行りの吹き抜けの状態にしてしまうと家自体が弱くなるということなのです。

でも近年では家の中心には「リビング階段」というのが増えてきました。

「リビング階段」とは、「リビングに階段を作って、リビングを通らないと2階に行けないようにする」というものです。

何故リビング階段が増えてきたのでしょうか？

の大きな理由は、「子どもとのコミュニケーション！」といのが一番の理由のようです。

今までの家は玄関に入るとすぐに階段があった為、子どもが帰って来ても家族の誰とも顔を会わず、いきなり2階の自分の部屋に上がってしまってコミュニケーションが全くない。

しかし、リビング階段だと、帰って来てリビングを通らないといけないので家族と顔を合わせてから、自分の部屋へいかなければいけないのです。

思春期のお子さんに多いのですが、家に帰ってからサッサと部屋に行き閉じこもってしまう。

あなたも学生の頃はそうだったんじゃないですか？

しかし、私は「リビング階段」にしたからと言って、親子のコミュニケーションが取れるというものでもないと思うのですが…。

偉そうなことは言えませんが親が子どもとうまくコミュニケーションをとれていないのではないかな？と思います。

家づくりも含めて、大切なのは、家族のコミュニケーションじゃないでしょうか？

せっかくマイホーム。家族みんなで仲良く暮らせる家にしませんか？

私も子供が一人います。今になって親の気持ちもわかるだけに、みなさんと同じように悩み話もできるだと思えます。

最後に、リビング階段を作る時には、空調に気を使いましょうね。

リビングから階段という事は、その階段部分は吹き抜けになるのです。

…とすると当然、暖かい空気は上に上がります。冬場はリビングの温度は上がりにくくなります。

…という事は暖房費がかかりますよね？

そういう事も少しアタマの片隅においておきましょう。

昔は自然素材

昔、日本の家はみんな、自然素材でできていました。

骨組み、床、天井、壁、建具などには、木、土、あるいは紙といった素材。

現代では和風から洋風へ、生活スタイルが変わってくると、家も、西欧のスタイルを真似た洋風住宅が多くなってきました。

しかし、これはうわべだけをまねています。

結果、壁にはビニールクロス、床にはプリント合板など、いわゆる新建材が使われ始めました。

これら新建材の中には揮発性有害物質が含まれ、人体に悪い影響を与えるものがあることがわかってきました。

これが最近話題のシックハウスです。

そして、今また自然素材が見直されています。

では、なぜ自然素材はいいのでしょうか？

自然の素材は当然ながら人体に有害な化学物質を発生しません。

それに加え、部屋の湿度にあわせて水分を吸収したり放出したりする「調湿作用」があるんです。

木は、調湿機能や保温性を持っていて、湿度の多い日本の気候風土には適した建材です。

年月を重ねるほどに味わいが出てくるのも、木ならではのことでしょね？

腐りにくく、芳香があるヒバやヒノキは、アレルギーを起こす原因の一つといわれているカビの発生を抑え、ダニを寄せつけないという効果もあるんです。

木の家では乾燥時期、「パリパリッ」という木の音にびっくりすることがあります。

木は生きているので乾燥すれば反ったり縮んだりします。逆に梅雨時には湿気を吸って、膨らんでいきます。

ここまでで自然素材は良いという事がお分かりになったと思いますが、「自然素材だとお金がかかるんじゃないだろうか？」という事を皆さん心配されます。

確かに同じ間取りの同じ仕様の家を建てるとなると、自然素材のほうが新建材を使用した住宅にくらべて多少高くつくと思います。

しかし健康に良いことには変えられないと思います。

また築後 100 年、200 年という木造住宅がありますから、永く使用に耐えるという事を考えれば、私は高いとは思わないのですが…。